

環境保全活動のきっかけ

COP3がきっかけとなり、
佐川急便の環境保全活動がスタート

1997年 気候変動枠組条約京都会議(COP3)の開催

地元企業として環境保全に何か貢献できないだろうか

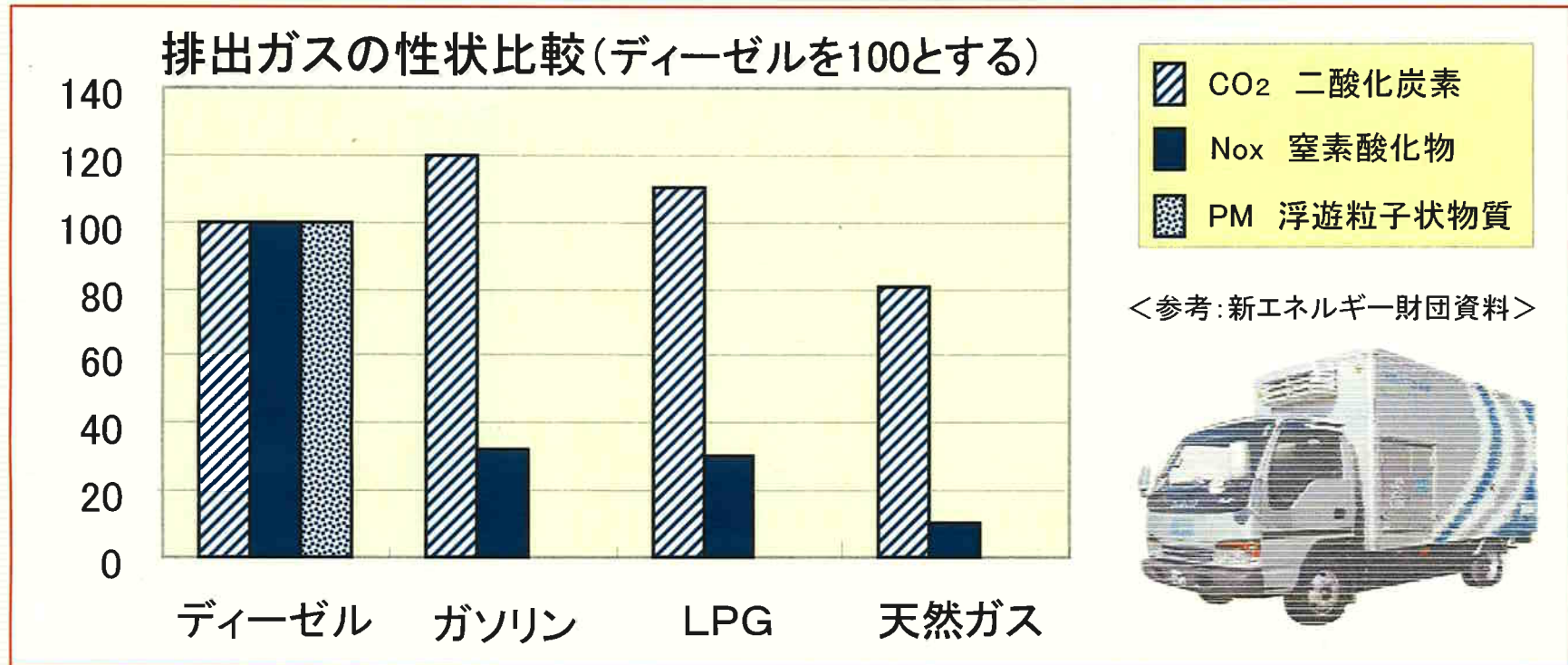


エコプロジェクト推進委員会発足

(全員役員で構成された、即断即決の委員会)

社会的な環境保全に対する関心の高まりに後押しされ、委員会の
発足並びに、低公害車の大量導入スタート

天然ガス自動車の導入及び性能



一般的なディーゼル車と比較して

CO₂削減率: **20%**

NO_x削減率: **90%**

PM 削減率: **100%**

平成18年7月20日

2935台導入

クライメート・セイバーズ・プログラム①

2002年 WWFの温室効果ガス削減プログラム 「クライメート・セイバーズ・プログラム」に参加

世界最大の民間環境保護団体であるWWFと、先進的な環境対策を進めている企業が協定を結び、CO2排出量削減を目指す

外部：企業の自主的な取り組みに透明性と信頼性が与えられる

内部：目標達成への強い責任感や緊張感が生まれる

日本企業としては第一号、物流部門としては世界初の参加

その他、ジョンソン・エンド・ジョンソン、IBM、ポラロイド、ナイキ、ラファージュ、コリンズ、ザンテラ・パークス・アンド・リゾート、キャタリスト、ノボ ノルディスク、テトラパック、ソニーの合計12社が参加



削減目標：2012年度までに CO2総排出量6%削減

(2002年度排出レベルより)

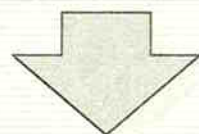
クライメート・セイバーズ・プログラム②

削減目標: 2012年度までに CO₂総排出量6%削減
(2002年度排出レベルより)

✚ ベースライン(2002年度)

1年間のCO₂総排出量 約36.66万t (燃料26.91万t 電力9.75万t)

2012年度まで、ディーゼル車のみ増車と仮定
CO₂排出量は約39.35万t(BAU)



約5万t削減

✚ -6%削減値

2012度 CO₂総排出量 約34.46万t

排出削減策 天然ガス自動車導入台数
累計 約7,000台 導入